

令和5年度 前川光町長とふれあいミーティング 議事録

日時：令和5年5月19日（金）18:30～20:00

場所：中央公民館別館3階大研修室

出席者：前川光町長、馬場教育長、武田総務部長、蛭原健康福祉部長、藤波環境事業部長、浅田教育次長、事務局（坂口企画財政課長、企画観光係 上田・垣内）

参加者数：14名

次第：1. 令和5年度予算について

2. ご意見等について

【参加者からの意見と回答】

① 議会、予算案などについて

（住民）

・パートナーシップ制度の陳情が委員会では否決されたが、本会議で可決された。また、令和5年度予算については修正削除された。修正されることはあり得ることだが、今回はその理由が納得いかない。中学校給食無償化、鳥居前配水池内道路（通学路）整備など、子どもに係る予算は、「一部の人が得になる」という理由で削除された。給食無償化は全国的にも広がりを見せており、また、通学路はPTAからも要望が出ているものである。

・複合化施設についても、町長は過去に丁寧に説明していたのに、議会からは議会に説明がなく、議会軽視だと言われている。議会が納得のいく説明とは何なのか。

・子どものためになる施策は、町全体の利益になる。町長には自信を持って進めてもらいたい。

（前川光町長）

・ありがとうございます。パートナーシップ制度については、5月中に実施する方向で動いています。

・事業を進めていくためには議会に理解を求めることが必要。今回予算が否決されたのはその度量が欠けていたものと反省しています。ただし、方向性は間違っていないと確信していますので、今後も引き続き議会に対して理解を求めていきます。

② 地下水について

（住民）

・学校給食について、災害などにより、どこかの給食室が機能しなくなっても他で補えるなどの利点があるため、自校式給食で本当によかったと思っている。

・南円明寺が丘団地で災害時などに開栓される蛇口があるが、そこを常時開放してもらえないか。長岡京市の調子馬ノ池公園のように、住民がいつでも使える地下水の蛇口を

設置してほしい。

・昔から住む住民は、昔の地下水 100%だった頃の水が、夏は冷たく、冬はあたたかいおいしい水だったと覚えている。ぜひ地下水 100%の水が出る蛇口を設置してほしい。

(町職員)

・ポンプ場のところの蛇口ですが、地下水と府営水をブレンドした水しか出ません。町内では地下水 100%の水が出る場所はありません。

(前川光町長)

・今後検討します。

③ 議員について

(住民)

・議員にはもっと住民の親身になって働いてほしい。岩崎のテニスコートが完成したことを知らなかったり、町内の交番が古いと話す。「警察に言ったらいい」と言われたりした。

(町職員)

・町が解決すべき課題があるということでもありますので、町としてはその課題の改善に努めていく必要があると考えております。

(前川光町長)

・交番については、町の中心である役場周辺に新しい交番を設置する予定で、警察との調整、用地の確保について、できる限り早く進めていきたいと考えております。

④ 指定ごみ袋の導入等、円明寺が丘団地マンションについて

(住民)

・町は「住民参加で脱炭素」を掲げている。確かに指定ごみ袋の導入でごみの削減にはつながっているかもしれないが、二酸化炭素の排出量削減という観点では、二酸化炭素排出量全体のうち、家庭ごみの占める割合はかなり低い。その中で半透明の指定ごみ袋を導入しても、個人が「やった気になる」だけで、自己満足で終わり、個人の力では限界がある。町としてはもっと大きな問題にも目を向けてもらいたい。

・乙訓環境衛生組合の負担金について、人口割にしてほしい。ごみの量が異なるため、二市一町同額の負担だと不公平である。

・円明寺が丘団地のマンションについて、50年経っているから建て替えを、という意見があるようだが、RC造（鉄筋コンクリート造）は100年もつと言われている。

・複合化施設の図書館はよい案だと思うが、反対される議員がいると聞いて残念だ。

(前川光町長)

・「住民参加で脱炭素」を掲げ、住民と一緒に環境対策を進めていこうという思いで、その意識付けの意味も込めて、指定ごみ袋を導入しています。

・乙訓環境衛生組合の負担金については、乙訓環境衛生組合だけでなく、乙訓消防組合なども乙訓二市一町が一緒になって運営している。この運営方法になった経過などもあるので、人口割は現状では難しい問題です。

・円明寺が丘団地のマンションは、建物が長持ちするというのは当然認識していますが、住んでいる人にとってどうかという問題でありますので、住民の皆様のご意見を聞きながら検討させていただきます。

⑤ 地下水、図書館について

(住民)

・山崎の地下水はブランドになる。地下水 100%の水が出る蛇口を大山崎町にも設置してほしい。

・複合化施設については、ワークショップでコストをかけて議論したものを議会にちやぶ台返しされて大変残念だ。

(前川光町長)

・地下水の出る蛇口については検討していきます。

⑥ 公民館の施設更新について

(住民)

・公民館の雨漏りがひどい。ホールが使えなくなり、ゆめほっぺも移設された。公民館は多世代が集う場であり、子どもにとっても大切な場所だが、ここ 7、8 年その文化が失われている。とにかく早く建物を整備してほしい。

(前川光町長)

・議会との調整不足は私の能力不足でもありますので、できる限り議会と調整し進めていきます。

⑦ 通学路、学童の夏合宿に係る指導員派遣について

(住民)

・大山崎町は子育て環境の良い町と思っているが、今回の議会で通学路に関する予算が否決されたことについては困惑し、怒っている。なぜ否決されたのか。

・学童では毎年夏休みに 2 泊 3 日で夏合宿に行っている。コロナ禍を理由にここ 3 年間は中止していたが、今年はやっと思えば行けるとしたら、先日の総会で町は指導員を派遣しないことを決めたとのことであった。その理由が、指導員を確保できないからというもので納得ができないので、ぜひ指導員の派遣について前向きにご検討いただきたい。

(前川光町長)

・学童の夏合宿については、町の中での位置づけや意義などが不明瞭な部分もあるが、そこも整理しつつ、今回の指導員派遣については前向きに早急に検討します。

・通学路について、予算が否決されましたが、十分にその危険性を認識していますので、ウルトラCも視野にその方法を模索して、来年の4月には通れる状態にしていきたいと考えています。

⑧ 学童の夏合宿について、指導員のフルタイム雇用について

(住民)

・学童の夏合宿については、5月中に決行の可否を決めなければ準備が間に合わない。「自然豊かな子育てのまち」を掲げる中、指導員の状況も把握しているが、大人の都合で子どもたちにしわ寄せがいくことだけは避けたい。

・町長選挙のとき、公開質問状を送付した。指導員をフルタイムで雇用してほしいという質問に対し、町長は「検討します」という回答だった。現在どのような状況ですか。

(前川光町長)

・学童の夏合宿については、5月中に検討します。

・学童の指導員フルタイム雇用については、制度全体のかたちづくりから始める必要がある。現在指導員を募集しているが、応募がないのが現状。これは大きな問題であると感じています。現在、保育所も定員いっぱいの園児が入所されているため、今後学童もさらなる需要が見込まれるので、対策を立てていきたい。

⑨ 複合化施設について

(住民)

・複合化施設の図書館については、これまで何度も話し合いの場が持たれていて、完成を楽しみにしていたのに予算が否決されてがっかりした。

・水道について、地震など災害が起きたときのためにも地下水も残しておいてほしい。

(前川光町長)

・水道なども含め広域化が進んでいる。皆さんに国や府の情報を共有して議論の場をつくっていきたい。

⑩ 指導員の雇用について

(住民)

・学童は最先端の遊びを取り入れており、指導員の方は子どものことをよく見てくれるので感謝している。しかし、町の指導員の雇用条件、給与などは他の自治体より劣っているの見直してほしい。

(前川光町長)

・なるべく配慮していきたい。